

## 第2回富岡市かぶら健康センターかのさと検討委員会会議録

平成24年1月30日(火)

午後1時30分から午後3時20分

富岡市役所南庁舎2階第3会議室

出席者 岩井・碓井委員を除く13名の委員  
矢瀧健康福祉部長、松浦健康推進課長、藤間かのさと係長

1 開会 司会・松浦健康推進課長

司会が開会を宣言

2 あいさつ

春山委員長

3 協議 春山委員長を議長とし進行

<委員長>(1)検討委員会の傍聴について第1回検討委員会での経緯を説明。

委員会の一般市民の傍聴の可否について及び傍聴規程(案)について意見を求める。

→<委員>前回の委員会の資料に事業仕分けの際の意見で、市民に公開して議論すべしとあるので、オープンにしても良いのでは。

<委員長>オープンにしてはという意見に対し、事務局から補足説明を求める。

→<事務局係長>第1回委員会において、この会議はオープンにすることが確認されましたので、すでに第1回の会議録を作成し、委員長に確認してもらい、会議資料と一緒に富岡市のホームページにおいて公開させていただいている。ただ、公開している会議録については、委員の発言については、委員個人を特定できないよう表現している。今日、検討いただく委員会の傍聴についても、市民の目があると発言しづらいといった考えもあるかと思うので、まずは傍聴の可否を協議いただき、可能の場合には、傍聴規程(案)について、ご意見をいただきたい。

<委員長>意見を求める。

→<委員>過去に市役所の他の検討委員会において、傍聴させて問題になった事とかはないのか。

→<事務局課長>そのようなことはない。

→<委員>製糸場の委員会で、専門委員会等で市民の意見を聞いておきながら、それに対する市からの回答が全くないといった例もあった。

→<課長>製糸場のことはわからないが、今回は傍聴のみで、傍聴者から意見を聞くということはないことを想定している。

→<委員>秘密会というのは、非公開という表現にしては。

→<委員長>その方が、良い。そもそもこの委員会は隠す必要がないのでは。

→<委員>秘密会という表現自体がおかしい。そもそも傍聴規程なのだから、この条文をなくしてもいいのではないか。

<委員長>では、傍聴を可能として、この5条の秘密会についての条文を削除することでよろしいか。

→<一同>承認

→<委員>施行はいつからとなるのか。

→<委員長>次回の検討委員会からということになるが、それはその他のところで協議したい。

<委員長>続いて(2)かのさと開館から閉館までの検証及び考察についての協議。委員の中にはすでに、具体的な活用方法についての案をお持ちの方もいらっしゃるでしょうし、私のところにも意見が寄せられているが、今回の検討委員会ではまずは、かのさとの検証をしたうえで、その後の検討を進めたいと考えるので、ご理解いただきたい。続いて事務局に説明を求める。

→<事務局係長>前回の会議の資料にも載せたが、今回も確認のために委員会の進め方を3ページに載せさせてもらっている。今回は、ステップ1・2について進めたいと考える。まず、4ページ、5ページについて説明させていただく。以下説明。

建設検討委員会は3ヶ月という短い期間で4回の会議を開催し、意見書を提出しているが、スケジュール的にかかなり忙しかったことと思われ、ある意味市側の提案を了承してもらうための、委員会だったという捉え方も出来る。

<委員長>ここまでの説明で質問や意見をお願いしたい。私から質問で悪いが当初の計画から厨房の設置はなかったようだが。

→<事務局課長>厨房は当初から計画になかった。

<委員>前回、施設を見させてもらったが、一般の家でも40年から50年と使っているのに、わずか10数年しか使っていない割に、建物の損傷というか老朽化が激しく感じる。

→<課長>雨漏りしたのは、建物の構造が良くないのが理由

→<委員>建物の補償だとか対応にならないものなのか。

→<委員>建築関係者の立場から言わせてもらおうと、公共の施設というのは作りが簡単な方が、維持管理が楽。複雑な構造が、あだとなって雨漏りにつながっている。

→<委員>管理の問題もあると思う。

→<委員>維持管理の仕方はどうだったのか。例えば、ボイラーを扱うのであるからそれなりの資格を持った人間が必要になると思うが。

→<課長>維持管理については、委託契約で行っていた。もちろん、資格を持った人間はいたが、機械関係については、個々に委託していた。また、施設の管理についても、雨漏りに関しては注意してもらっていて、排水口の掃除等は頻繁に行っていた。

→<委員>今までに雨漏りをしたことはなかったのか。

→<事務局課長>今までも多少の雨漏りはあったが、今年のあれほどまでの雨漏りはなかった。

<委員長>ほかに意見は？

→<委員>かのさどが開館する際の建設検討委員会では、市側の計画ありきで進んでいたようだが、今回も同じようにこの委員会は方向性が決まっているのか。開館時にはすでに赤字になることが想定されていたにもかかわらず、計画が進んだようだが。

→<事務局課長>今回は、白紙の状態からの活用方法をこの検討委員会で協議してもらうので、時間的にも来年度一杯での提言を考えているので、ご理解いただきたい。

<事務局係長>お金の話が出たので、次の資料6ページ、7ページ、8ページをを説明させていただきたい。

計画の段階では、地域の意見を聞いて大元になる仕様書を作った。コストは意識はしていたようだが、かなり甘い見込みであったと思われる。実際にかかるコストは開館前になってようやくつかめたようで、決算金額に近い数字になっており、開館時には赤字は想定出来ており、市民福祉の向上のための事業として、採算を度外視しスタートした事業と捉える事が出来る。また、歳出は10年間で約2,600万円の削減が行われており、経営努力はしたものの、施設の維持管理等にかかる費用が大きすぎて、赤字を埋めるまでには行かなかったことも伺うことが出来る。以下、建設費内訳、現在の資産価値、配置図について説明。

<委員長>意見を求める。

→<委員>建設費の財源について、資料として不明というのはおかしいのでは。

→<事務局課長>起債額と交付税措置された額を説明。

→<委員>今から、昔のことを掘り返してもしょうがないので、細かい数字にとらわれるよりも今後のことを考えた方が良い。

<委員長>続いて、その他のリカちゃんキャッスルについて事務局に説明を求める。

→<事務局係長>9ページを説明

＜春山委員長＞意見を求める。

→＜委員＞リカちゃんキャッスルが一時的にでも来るとなると、改修費用は市が負担するのか。

→＜事務局課長＞改修費用は相手方に負担してもらうことを想定している。

＜委員＞数ヶ月前に県で災害遺児の受入れ施設を探しているという話を聞いたが、市にはそのような話はなかったのか。

→＜事務局課長＞聞いていない。

→＜委員＞個人的にはかのさとが入浴施設として開館する前から、障害者の施設の必要性を感じていて、かのさとはその施設にするのに良いと感じている。

＜委員長＞今後、この委員会の進め方を皆さんにおはかりしたい。第1回の会議から2カ月で今回の第2回の会議を開催したが、もっとスピード感をもってやった方が良いということであれば、1ヶ月に1度であるとかを考えたい。また、委員さんも仕事を持っていたり、忙しい時間を割いて出席してもらっているので、会議の時間も1時間から1時間半くらいと決めたいがいかがなものか。

→＜委員＞この役を受ける際に、2ヶ月に1度の会議ということを知っているが。

→＜委員＞委員会の進め方として、平成24年度中の提言書の提出とあるが、平成25年3月末の提出を意味するのか。

→＜事務局課長＞今後の検討委員会の進み方にもよるが、話がまとまれば早い段階での提出も有り得る話で、特に年度末までにとという考えはない。

→＜委員＞今の状態だと、建物の傷みも進行してしまうので、そのようにならないよう配慮が必要ではないか。

→＜委員＞2ヶ月に1度ということではなく、間隔を短くした方が良い。

→＜委員＞議会等の都合もあるので、次回は3月の末位に開催してもらいたい。

→＜委員＞次回は、具体的な活用方法の検討をするということであるが、案として、他の施設への転用、貸付け、売却といくつか大まかなくくりがあるが、次回は転用についてといったふうに、検討する内容を決めないと話がまとまらないと思う。出来るのであれば、内容を決めて事前に意見を集める等の必要があるのではないか。

→＜委員＞会議の開催日はいくつかの候補の日をあげてもらい、委員の都合を聞いたうえで決めてもらいたい。

→＜委員長＞出来れば、3月議会が終了後ということで、3月27日か28日あたりでどうか。

＜課長＞次回の委員会は3月27日でいかがでしょうか。

→反対意見なく、了承

＜委員長＞他に意見を求める。

→＜委員＞おかしな発言であったら申し訳ないが、この施設をどうするというのを検討する前に、市民のニーズの調査をパブコメ等で募集してはどうなのか。また、活用方法を検討するにも、コストを意識するのか、対象者を絞るのか、ということにより考え方が違ってくと思うが。

→＜委員＞事例として、公共の温泉施設を民間に売却した例を参考にすることも必要では。箕郷にある「まねきの湯」はその例ではないか。

→＜事務局＞民間から民間に売却された事例である。

→＜委員＞私も、市民の意見を聞いた方が良いと思う。次回の会議まで2カ月あるのだから、事務局にお手数をかけるが、市民にアンケートを取ってもらうことは出来ないか。そのアンケートも具体的な内容の設問にして、答えやすいものが良い。

→＜委員＞仮にアンケートを取るとすると、かのさとを利用していた人の声が多くなり、再度入浴施設として開館してもらいたいという声が強いことが予想される。これだけの、赤字を背負ってしまったことにより閉館したのだから、それ以外での活用方法を考えていく必要があるのではないか。

→＜委員＞市民の方に、赤字を背負って市民に負担を強いることもあるが、それでも良いのかという議

論をする必要もあるのではないか。

→<事務局課長>大変、申し訳ないが、第1回の会議でも申し上げたが、委員の皆さんは団体からの代表者という立場で委員になられている方が多いので、その団体である程度意見を集約してもらい、その意見をいただきたいと考えている。

→<委員長>では、アンケートは取らずに委員の皆さんからの意見を集約する方向ですすめていきたい。次回の会議までに、資料等が必要であれば事前に事務局に相談していただく等、各自で意見をまとめていただきたい。また、事務局には資料等の用意をお願いしたい。

#### 4 その他

なし

#### 5 閉会

司会が開会を宣言

～15 : 20